

リ士
断
コ診

全国連合会立ち上げへ

1年以内めど 資格者活用働き掛け

コンクリート診断士の
資格者で構成する東京コ
ンクリート診断士会（小
野定会長）などが、全国
連合会の立ち上げに向け
た検討を開始した。コン
クリート診断士の資格認
定は、日本コンクリート

工学協会（JCI、阪田
憲次会長）が実施してお
り、現状では、地区ごと
に資格者が集まった各診

断士会が個別に活動を行
っている。老朽化したイ
ンフラが急増するのに伴
い、コンクリートの劣化

診断や維持管理に対する
ニーズが高まっているこ
とを踏まえ、東京コンク
リート診断士会は資格者

の積極的な活用が重要に
なると判断。そのために
全国組織を設立し、連携
強化を図ることになっ
た。準備組織を設けて検
討し、今後1年以内をめ
どに連合会の発足を目標

とす。公共発注機関などに
も資格者の積極活用を求
めていく。
同資格は、既存構造物
のコンクリート診断など
を行う技術者を認定する
もので、01年度に創設さ
れ、08年度までに720
9人が合格している。
コンクリート診断士会
は、有資格者らが任意で
立ち上げている組織で、
これまでに▽北海道▽青
森▽新潟▽長野▽東京
（関東圏）▽富山▽石川
▽福井▽静岡▽京都・滋
賀▽鳥取▽島根▽高知▽
大分の14地区で発足し
ている。
有資格者が年々増えて
いく中で、技術の研さん
に向けた講習の充実や、
資格の認知度の向上、有

資格者同士の情報共有・
連携などが課題となっ
ている。このため、各地区
の診断士会が連携し、連
合会の設立を目指す機運
が高まった。
先月26日には、東京コ
ンクリート診断士会の主
催により、各地区の診断
士会の代表者が参加する
パネルディスカッション
が都内で開かれ、こうし
た課題を議論。
各地区の診断士会から
は、「資質向上などには
全国横断の組織が必要」
といった意見が出され、
連合会の設置に向けて準
備会を設けるとの方向で
一致した。

協会に出席した阪田J
CI会長は「連合会の設
置は意義がある」との認
識を示した上で、連合会
が発足した際には、講習
会の実施などで連携し、

協力していく考えを表明
した。

した。